学習情報紙４月号

東部いれこみ情報

NO.２７１　２０２４年（令和６年）４月１日

発行　東部地域振興課

住所　〒７２１－０９１５　福山市伊勢丘６－６－１

電話　０８４－９４０－２５７４　　FAX ０８４－９４７－５６５８

1. 遊歩一景
今月は「東部市民センター」
	1. 桜咲く　丘にたたずむセンターの　歩み間もなく　四半世紀
	2. 記事
	　東部市民センターは、伊勢丘にある見晴らしの良い丘陵地に位置しています。昔は山間地で、南側には江戸時代に発達した「鴨方往来」と呼ばれる道が横切っています。
	　１９６０年代に日本鋼管福山製鉄所の建設が決まると、周囲の山々では住宅地として急ピッチで造成が始まりました。市民センターの敷地は、「伊勢丘グラウンド」として整備されました。側にボーリング場ができるなど地域の人が憩う場所になりました。
	　２０００年７月３日に使用開始されると、市役所のさまざまな窓口として、また生涯学習の拠点として、広く地域のみなさんに利用してもらえる施設になりました。
	　周囲には、桜の木が多くあります。転入してこられる人との交流にと植えられたそうです。駐車場のそばに桜並木を通り抜ける遊歩道やベンチが設置されており、季節になると多くの人が訪れています。
2. 動画サイトToutube トーチューブのお知らせ
今回は「交流館でシンフォニー」
	1. 内容
	　東部文化フェスタの出演にご応募いただいた中から、希望するグループを対象に動画撮影しトーチューブで配信します。
	　今回は、「笠岡シンフォニックウインズ」の皆さんの演奏です。どうぞご覧ください。
	2. 公開　４月１日（月）８：３０～
	3. 動画サイト　YouTube
	4. チャンネル　TouTube.F
	5. 問合せ先 東部地域振興課
		1. 電話：084-940-2574
		2. FAX：084-947-5658
		3. メール：toubu₋chiikishinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp
3. 桜坂ギャラリー企画展のお知らせ
今回は「東部まちづくり博覧会２０２４」
	1. 内容
	　東部管内１５学区のまちづくり推進事業を紹介・展示する「東部まちづくり博覧会」を開催しています。
	　どのパネルも工夫を凝らして作製されており、東部地域の新たな魅了を発見できる展示コーナーにお越しください。
	2. 期間　４月３０日（火曜日）まで
	3. 場所　東部市民センター２階　ロビー
	4. 主催・問い合せ先　東部地域振興課
		1. 電話 ０８４－９４０－２５７４
		2. FAX ０８４－９４７－５６５８
4. 地域をつなぐまちづくり紹介
今回は「わくわく農園」（千田学区）
	1. 内容
	　千田学区では、子どもたちに農業体験を通して自然の恵みを学び、地域の方とふれあい、絆を深め、心豊かで健やかに成長してほしいとの思いで２００８年（平成２０年）からわくわく農園が始まりました。
	　地域の方の畑や田んぼを借り、千田小学校と認定こども園せんだの森の子ども達が、地域の農園ボランティアの指導で野菜の植え付けや収穫、田植えや稲刈りをしています。
	　取材に訪れた日は、じゃがいもの植え付けを行う日で、子ども達は農園ボランティアの説明を真剣に聞き、植え付けた種芋に向かって「おおきくな～れ」と声をかけていました。
	　農園ボランティアの皆さんは、植え付けなどの指導のほか、草取りや水やりなど１年中田畑の管理をされていますが、「子ども達が喜んでくれるのが一番のやりがい」と話されていました。
5. 子ども大活躍
文化フェスタボランティア
	1. 内容
	　３月３日に開催した東部文化フェスタは、昨年度までコロナ禍により中止又は観客の人数制限を行い開催していましたが、今回は久しぶりに制限をなくし、中学生ボランティア３４人の協力もあり盛大に開催できました。
	　中学生ボランティアは、会場案内や迷子などの館内放送、カフェコーナーのゴミ分別、魚釣りゲームの景品渡し、シャトルバス乗り場への誘導など様々な活動をしてくれました。
	　また、今回初めて企画した、楽しみながら会場内を見学してもらうためのデジタルゲームでは、やり方が分からない人にスマホの画面を一緒に見ながら操作していました。
	　ボランティアの活動について参加者の皆さんからは「優しく対応してくれた」「笑顔で案内してくれた」「説明が分かりやすかった」など感謝の言葉が沢山寄せられました。
	　中学生ボランティアの皆さん、本当にありがとうございました。
6. 東部管内イベント・講座情報
	1. 春日コミュニティ館からのお知らせ
		1. 多文化教室「なないろ」を開催します
			1. 内容　多文化の交流をします
			人と人のつながりを大切にしながら、困ったときは「お互いさま」の気持ちで住みよいまちをつくっていきませんか。
			2. 日時　４月１１日・１８日・２５日
			毎週木曜日１０時から１１時３０分
			3. 対象　国籍や年齢に関係なく、だれでも参加できます。
			4. 持参物　筆記用具・勉強したいもの
		2. ベビーマッサージを開催します
			1. 日時　５月７日（火曜日）１０時から１１時３０分
			2. 講師　西田啓子さん（助産師）
			3. 対象　おおむね2か月から1歳時までの乳児と保護者
		3. 「手話ってなぁ～に？」を開催します
			1. 内容　聴覚障がいや手話について、実技を交えて、ろう講師から学びます。
			2. 日時　５月２３日（木曜日）１３時３０分～１５時
			3. 講師　寺西歳秋さん、谷野道雄さん
		4. すべての講座に申し込みが必要です
			1. 申し込み・問い合わせ先　春日コミュニティ館
			電話　084-943-2531
	2. 東部図書館からのお知らせ
		1. 展示「もっと便利に！めざせ図書館マスター！」を開催します
			1. 内容　図書館利用案内、ホームページや電子図書の紹介などの展示
			2. 期間　4月１７日（水曜日）から５月２０日（月曜日）
			3. 会場　東部図書館　1階フロアー
		2. はるのおはなし会を開催します
			1. 内容　大型絵本の読み聞かせ、大型紙芝居、エプロンシアターなど
			2. 日時　４月２１日（日曜日）１１時から１１時４０分
			3. 会場　東部図書館　2階集会室
		3. サロンコンサートを開催します
			1. 内容　バイオリンの演奏
			2. 出演　アンサンブルきらら
			3. 日時　４月２３日（火曜日）１４時から１４時３０分
			4. 会場　東部市民センター　1階サロン
		4. 申し込み・問い合わせ先
		いずれも　東部図書館
		　　　　　電話　084-940-2575
7. 特集「アンコンシャス・バイアス」について考える　その１
	1. 「アンコンシャス・バイアス」とは
	　「アンコンシャス＝無意識」と「バイアス＝先入観や固定観念、思い込み」という単語を組み合わせた言葉です。日本語では「無意識の思い込み」と訳されています。新しい言葉のようでありますが、今までも私たちの身の回りにあった概念です。日本では２０１３年頃から新聞やテレビでも取り上げられるようになり、企業ではすでに研修などの取組も行われています。
	2. 思い当たることありませんか？
	＊血液型だけで性格を想像してしまう。
	＊男性が日傘をさすのはおかしいと思う。
	＊仕事や役割を性別だけで決めることがある。
	＊「普通は…だ」「たいていは…だ」という言葉を使うことがある。
	　いかがでしたか？アンコンシャス・バイアスは、今までの経験や周囲の意見、メディアなどの日々接する情報から作られていることも多く、誰にでもあるものです。
	3. 気づきの重要性
	　アンコンシャス・バイアス自体が悪いという訳ではありません。しかし、思い込みによって正しい判断が出来ないままでいると、悪気なく相手を傷つけたり、さまざまな可能性を狭めたりするなどの悪影響を及ぼす可能性もあります。
	　気づきは多様性を認め合う社会の実現の第一歩です。自分自身が気づくこと、そして周りの人の思い込みや決めつけに気づいたらちょっと声をかけてみることも大切です。
	　誰もが幸せに暮らせる世の中であるために、今年度は「アンコンシャス・バイアス」を特集します。
8. フェスタをふり返って
　３月３日に開催した「ふくやま東部文化フェスタ２０２４」では、多くの方に来場していただきありがとうございました。
　昨年度と比べ、ステージでは発表団体を増やし制限なしで観覧できるようにしたほか、子どもさんが楽しめるゲームコーナーや喫茶コーナーが復活しました。
　臨時駐車場となった鳳中学校のグラウンドと、東部市民センターを往復するジャンボタクシーを初めて準備したところ、たくさんの利用がありました。他にも、新たな取組としてスマートフォンで参加するデジタルゲームを作り、会場の隅々を見てもらえるように工夫しました。
　ふくやま東部文化フェスタは、東部管内の交流館を中心に活動するグループの発表の場として、また地域の皆さんの交流の場として、今後もさらに盛り上げていきたいと考えています。次回も皆さまの笑顔に会えることを楽しみにしています。
9. コラム「桜のささやき」
「アフターコロナ」が宣言された昨年春、恐る恐るマスクを外した人もおられたと思います。これをきっかけに、さまざまな市民活動に集う人が少しずつ増えた一年でした。そして迎えた三月三日のふくやま東部文化フェスタでは、多くの出演・出品・出店で来場者をお迎えし、賑わうことができました。
　フィナーレの時間には、笑顔あふれる「アフタートーク」がそれぞれの持ち場で交わされました。準備からの苦労や当日の出来栄えなどをふり返りながら互いの労をねぎらい合ったかと思います。
　しかし、これまでの四年間で家族や友人を失った人もおられると思います。心身に傷跡が残る人もおられると思います。さまざまな思いを抱えている人が周囲におられることを理解し合い、東部文化フェスタが共に前を向いて歩けるような、「アフターケア」の機会になればと心から願います。

視覚障がい等の理由がある人のために，営利目的を除き「録音」「点字」「拡大」などを認めます。
以上